

# 令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	次世代型学力・学習状況調査 研究事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	12,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		-	-	-	12,000
事業内容	<p><b>1 目的</b></p> <p>学校のICT環境が整備され学習手法も変化していることから、                  現行の紙ベースで実施してきた府学力診断テストをCBT（※1）化                  するとともに、学力の伸びが把握可能なIRT（※2）により、児童                  生徒の学力向上に繋げる実証研究を実施</p> <p>※1 <u>Computer Based Testing</u> :                  コンピュータやタブレットを用いて行うテスト方式</p> <p>※2 <u>Item Response Theory</u> :                  問題や受験者が異なる場合であっても、問題の難易度をものさしと                  して調査結果を比較可能にする理論（TOEFLや英検等で活用）</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>(1) IRTとパネルデータ（※3）を組み合わせた学力・学習状況調査実証研究                  児童生徒が自らの学力の伸びを実感し、適切な学習方法や学習に                  向かう態度を習得・改善するとともに、教員が客観的データに基づ                  いて改善された効果的な指導・支援を行うことにより学力と非認知                  能力を向上</p> <p>※3 パネルデータ :                  児童生徒一人一人の変化を継続的に把握する手法</p> <p>(2) CBTシステム構築・活用実証研究                  GIGAスクール構想で配備された1人1台端末を用いて児童生徒                  の学力や学習状況を測定し、結果の早期活用と個に応じた指導の充実                  につなげるCBTシステムを構築</p>				
担当課名	学校教育課 指導第1係	電話番号	075-414-5833		